

6年間を見通した独自の教育課程

本校の教育課程は概ね35時数/週です。文科省が示す標準の29時数/週よりも充実しており、生徒たちの6年後のゴールを見据えた教育課程を組んでいます。

中学生の学習を中学2年生までで修了し、高校生の学習を中学3年生から始めます。7時間授業、隔週土曜授業、夏季課外・冬季課外等も含め圧倒的な授業時間を積み重ねて、学力の向上を目指します。

定期的な振り返り学習、週テスト

独自の教育課程である数学・英語・国語の週テスト(毎週実施)で、1週間毎に学んだことをしっかり振り返ります。加えて放課後の学習会も実施し、生徒一人ひとりの学力の定着をフォローしています。

それによって高い定着度を保持したまま、安定した学習習慣を身につけることができます。校外模試の結果を見ても、県内の中高一貫校の中ではトップクラスの成績を収めています。

生徒と教師の距離が近い学校環境

本校では、中学高校を含め教師一人あたりが受け持つ生徒数は、12.4人です。熊本県教育委員会の調べ(表1)では、平均すると熊本市内の公立中学高校では14.26人、私立中学高校では14.63人となっており、本校の教師一人あたりの生徒数は、平均と比べてもかなり少な

文科省が示す中学校の標準時数と真和中学校教育課程の比較 (令和6年度)

学年	1		2		3	
	真和	標準	真和	標準	真和	標準
国語	5	4	4	4	5	3
社会	3	3	4	3	4	4
数学	6	4	5	3	5	4
理科	4	3	4	4	6	4
英語	5	4	6	4	5	4
芸術	2	2.6	2	2	2	2
保健体育	3	3	3	3	3	3
技・家庭	2	2	2	2	1	1
道徳	1	1	1	1	1	1
総合	2	1.4	2	2	2	2
特活	1	1	1	1	1	1
週テスト	1	0	1	0	1	0
計	35	29	35	29	36	29

くなっています。これは本校の、生徒に対する向き合い方がとても丁寧で、細部にわたり指導が行き届きやすいことを示しています。生徒と教師の距離が近く、様々な相談や学習の悩みも親身になって対応ができています。

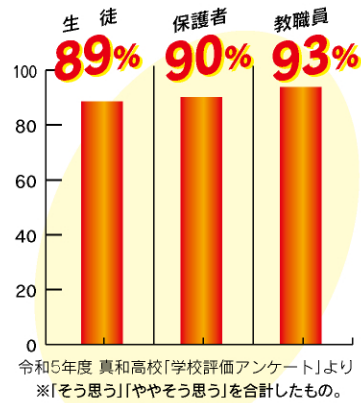
このことは高校進学後の学校評価の結果からももうかがうことができます。ほぼ9割の生徒や保護者が、真和での学校生活は充実していると答えています。

表1. 教師一人あたりの生徒数比較(熊本市内の中高合算)

中学校・高校合算	学校数	生徒数	教員数	教師一人あたりの生徒数
全中学校・高校	77	50,104人	3484人	14.38人
公立中学校・高校	55	32,137人	2253人	14.26人
私立中学校・高校	21	17,248人	1179人	14.63人
真和中学・高校	2	732人	59人	12.4人

令和4年度(2022年度)教育資料集学校一覧 熊本県教育庁教育政策課より/教師の数は常勤者のみ

「本校での学校生活は充実していると思う」



中学3年・高校1年

第2期 学力拡充期
より太く育ち、枝や葉を伸びやかに広げる

	中3	高1
国語	■中3の課程の学習を行います。 ■高1の古文・漢文の学習を行います。	■概ね高校2年の課程の学習を行います。 ■探究学習を積極的に実施し、校外の学習イベントにも参加することで、教科を横断するような知識の構築を図り、論理的思考力や豊かな表現力を鍛えていきます。
社会	■一部、高校1年の内容を学習して、高校歴史総合や高校地理総合へ円滑な接続を行います。	
数学	■高校1年の課程の学習を行います。	
理科	■高校1年の課程の学習を行います。	
英語	■高校1年の課程の学習を行います。 ■GTECを全員受験します。	

確かな基礎学力を基に、進路選択を考えていきます。この時期は進路を絞るよりも、むしろ自分の多様な可能性を考えて、進路の幅を広げることを優先します。学校生活が多彩に広がるように、学習イベントや学校行事も、この時期に豊富に準備されています。これらを学習とつなぐことで、多様なものの見方や考え方を鍛え、論理的思考力を鍛えていきます。

高校入試対策を必要としない中高一貫校だからこそ、思い切ったカリキュラムの編成が可能です。

高校生を目標に、挑戦する中学生

中学生における中高一貫校の良さの一つに、高校生との距離の近さがあります。色々な活動に取り組んで結果を残す高校生から、中学生たちは様々な刺激を受け、奮起します。

本校の高校生は学校外での学習プログラム(キャリア甲子園、科学の甲子園、数学オリンピックなど)に積極的に取り組んでいます。

キャリア甲子園2021では全国優勝、科学の甲子園2021では熊本県代表になるなど優秀な成績を収めています。

その結果、科学の甲子園ジュニア(科学の甲子園の中学生版)では、熊本県代表の常連校となったり、校内での独自コンテストを企画したりするなど、新しい学びに取り組む姿勢が見られるようになっています。

また、本校で6年間切磋琢磨し合った生徒たちは、かけがえのない友人となります。よき先輩、よき後輩との人間関係の中で、強い絆をもって次のステージに挑戦していきます。



日本最大級のビジネスコンテスト **キャリア甲子園**

- 2018～2019年度……決勝進出
- 2020年度……準決勝進出
- 2021年度……総合優勝
- 2023年度……準決勝に2チーム進出

高校2年・高校3年

第3期 学力発展期
花を咲かせる

	高2	高3
各教科	■高校3年の課程の学習を行います。	■大学入試を見据えて総合演習を行っていきます。
	■比較的学びやすい中学の学習過程を、中1～中2で先取り学習することで、高校3年間の学びを中3～高3の4年間でじっくり学ぶことになります。	

自己の志を明確にし、進路を決めてより深く学ぶことを目指すのがこの時期です。多様化の一途をたどる大学受験への対策も、時間をかけて繰り返しじっくりと身につけていきます。その一方で、生徒達が興味関心のあるテーマを深く探究する学習もおそろにしません。

大学での「学修」や社会に出てからの自己実現をめざして、真和での6年間を完成させていきます。

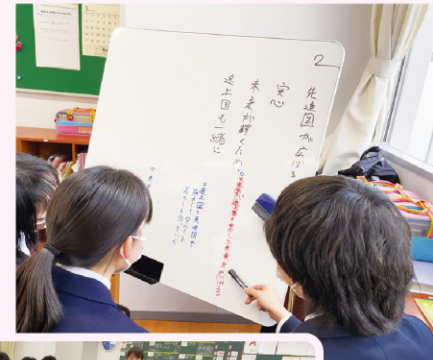
60年を超える熊本有数の中高一貫教育の伝統校だからこそ、多くの経験と実績を背景にした実践の工夫がちりばめられています。



難関大学受験を目指す「鉄緑会」もオンラインで受講

探究活動

各教科で得た知識や技術を駆使して、選択したテーマの解決に挑戦します。取り組む課題は様々で、環境問題・医療問題など多岐にわたります。正解のない課題に、中学生なりの「最適解」を求めてチームで「対話」を重ね、「主体的」にそしてより「深い学び」へと深化していきます。



部活動について

本校は中高あわせて文化部19部、運動部11部が活動しています。高校生と一緒に活動する部活動もあります。それぞれの個性に合わせて熱心に活動しています。中には複数の部活動を掛け持ちしながら楽しんでいる生徒もいます。(P9～P10参照)

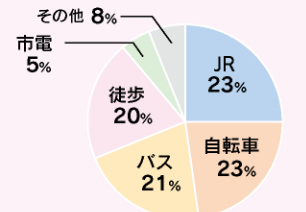


通学について

本校は、熊本市中央区九品寺にあります。広い地域から、公共交通機関を利用して通学できます。JRや市電、バスで通学している生徒が多くいます。また、寮も完備していますので、寮生活という選択肢もあります。

朝のホームルームは8時25分から、下校時間は夏季18時、冬期17時30分です。

通学手段の割合



通学時間の割合

